

拝啓 新春の候、青木様におかれましては如何にお過ごしでしょうか。当館で先月まで開催してまいりました浅野翁一郎展の折には、当館にお越しくださいるとともに、貴重な資料をお持ちいただき、誠にありがとうございました。

お返しいただきました資料、早速拝読しました。数波浄慧氏の業績について、知ることができ、大変有意義でした。と同時に、浅野翁との接点も垣間見えるようでもあり、非常に面白く読ませてくださいました。

数波氏と浅野翁とは、わずか四歳違い。数波氏は十七歳のときに浅野家の菩提寺である光福寺に入道されたのです。浅野青年との交流があなたの心なにかとも予想され、ゆくゆく感じすら覚えました。

今回の教示いただきましたことをいささか、今後浅野、数波両氏の接点について調査してみたいなと思っております。もし青木様の方で、両氏のより明確な接点が見られる資料をご存知でしたら、またお教えいただけるとありがたいです。

長期にわたり資料をお貸しいただき、誠にありがとうございました。
また、お借りしておりました資料を郵送させていだだきますので。
次回寄館にて開催予定の企画展チケットとゆずみばかり添付
いたしました。また、寄館にみ返しただけゆびと存じます。

今年度は比較的穏やかなお正月とはおりました。今後寒さも厳し
くなるかと感じますので、どうぞご自愛くださいます。

敬具

平成二十九年一月四日

高松の国文学館

菅田智雄

青木一彦様